

津軽中里駅「駅ナカにぎわい空間」で3月25日(日)、北海道新幹線開業2周年と青函トンネル開業30周年を記念したイベントを開催し約500人が来場しました。

イベントでは「突撃！隣のなべ自慢」と題した、中泊町・五所川原市・今別町の鍋の食べ比べが行われ、けの汁、ほっけのすり身汁、でる・そ〜れ鍋、あづべ汁が登場。また、金多豆蔵人形芝居が行われ、鍋を味わいながらも、会場からは笑い声と拍手が聞こえていました。

「駅ナカフォーラム」で地域のことをみんなで考えた後は、ベェ子ちゃんによるダンスやなかどまり歌俱樂部による歌謡ショー、SUGA-PIMPSのスペシャルライブで盛り上がりました。SUGA-PIMPSの1人は五所川原市金木町出身ということもあり、合間の津軽弁トークでも来場者を楽しませていました。

鍋を楽しんでいた来場者は「いろんな鍋があって、飽きずに楽しめた。

どれも美味しかったので作り方を教えてもらった」と満足そうに話していました。



美味しい鍋に行列も



金多豆蔵人形芝居



駅ナカフォーラムの様子



SUGA-PIMPSのスペシャルライブ

## メバル膳 5万食突破

はくちょう亭奈良屋で  
記念品・感謝状授与

当町の新・ご当地グルメ「中泊メバルの刺身と煮付け膳」が3月22日(木)、5万食を突破し、はくちょう亭奈良屋で記念イベントが行われました。記念すべき5万食目となった五所川原市の川村良子さんには、生メバルなどの記念品の目録や感謝状が贈られました。メバル膳を食べた石村さんは「びっくりしました。2回目のメバル膳だが、メバルが新鮮でこりこりとした歯ごたえがあり、やっぱりおいしい」と満足そうに話していました。

メバル料理推進協議会の試算によると、5万食達成による経済波及効果は2億8千万円となるそうです。同協議会の中畑哲也会長は「大きな壁を越えることができました。町からの支援でメバルの安定供給も可能となるので、これからも頑張って町を盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。

